

皆さんおはようございます。

本日より第 2 学期のスタートです、本来ですと体育館に集合し皆さん一人一人の顔を確認しながらお話しするところですが、先日からの暑さと新型コロナウイルスの感染防止の観点から放送に拠ることとしました。

例年と違って短い夏休みはいかがでしたか？あっという間だったでしょうね。私もそう感じましたし、テレビでの高校野球観戦が少なかったのが残念に思われました。しかし、地域から出場した「平田高校」、同じ農業高校という点での「帯広農業高校」どちらも一生懸命に戦ってくれました。一度中止が決定された後、交流試合という形ではありましたが、甲子園というあこがれの舞台で思い切り試合ができたことに満足感や達成感、感謝の気持ちなどが選手から述べられ、大勢の観客や応援がないなかでしたが、本当に素晴らしい試合だったと思いました。

コロナについては、皆さんも知っているとおり松江市内の高校で大規模なクラスターが発生し、心配した人も多くいたのではないのでしょうか？本校も同じく「寮」のある高校ですし、部活動にも一生懸命取り組んでいます。これまでも感染防止に取り組んできましたが、より一層の注意と思いやりの心、そしてがまんする心が必要だと感じました。なぜかという感染防止のいろいろな取り組みは、それをきちんとやろうとすればするほど時間がかかります。その時間をどうやって生み出すかは、ちょっと早めの動き出しや逆にちょっと待つこと、また、周りの動きを見ることによって何とかできるのではないかと思います。私たちの学校生活は、全校ですと 443 人、それがクラスや実習班、課題研究のグループなど学習の場面によって変わります。また、部活動に入っている人もいます。そして、これから本格的に準備を進める体育祭や農業祭などそれぞれの場面ごとに、いろいろな単位で活動を進めます。ぜひ、時間の使い方、思いやりとがまんする心を持って取り組んで頂きたいと思います。

そして、今年度の様々な学校行事をはじめとしたすべての教育活動は、これまでとは違う、新しいコロナ対応のモデルケースとなります。感染症対策をこんな風に考えた、こんな取り組みをしたことを記録に残していこうと思います。そして、私たちが学校以外の場所で見た感染症対策を取り入れることができるのかどうか、そうしたことも私たち教員任せでなく、皆さんの方から提案があったりすると、それが新しい活動や方法に結びつくかもしれません。この 2 学期は、出雲農林高校の「新しい生活様式」を考えながら学校生活を送っていきましょう。

コロナのお話しが大半を占めてしまいましたが、夏休み中の暑い中での農場での実習や当番、部活動での毎日の練習、吹奏楽部のフェスティバルでの演奏、一日体験入学でのスタッフ、家庭クラブの皆さんの清掃ボランティア、地域との協働事業でのプロジェクト発表、補習授業など様々な活動に自信を持った一生懸命な姿があり本当にうれしく思いました。一人一人に声を掛けることはできませんでしたが、こうした活動の積み重ねが、必ず 3 年生の進路実現に繋がります。

3 年生の皆さん、試験に向けての準備はいかがですか？これまでのたくさんの積み重ねをぜひ整理して、うまくお話しや文章にしておいてください。1 年生、2 年生の皆さん、来年、再来年自分の進路が希望通りに決まるようたくさんの経験を積んでください。この経験は、きっと来年、再来年の大きな武器（セールスポイント）になると思います。セールスポイントの取得には、皆さんの努力がベースとなりますが、本校にはそれぞれに専門の先生方がおられます。先生方は、皆さんの頑張りをいつでもサポートして下さいますので、何か分からないことがあればぜひ聞いてみてください。今からすぐにできることや関係した文書や手続きの仕方などお話し頂けると思います。一人一人のキャリアパスポートの充実に努めましょう。

2 学期での皆さんの更なる成長を期待しています。